

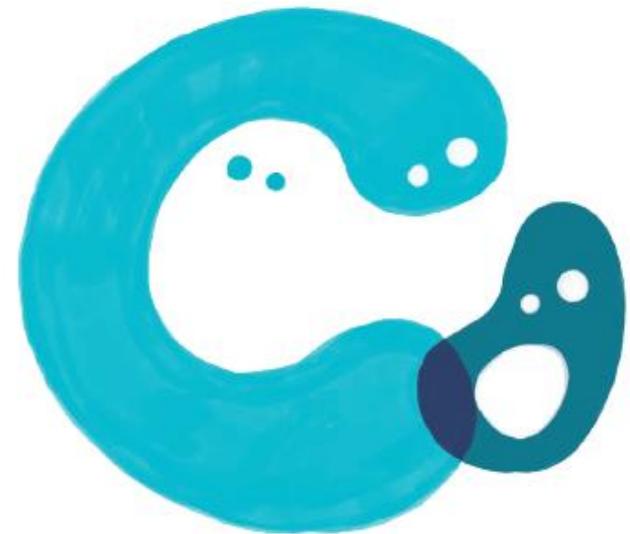
資料3

第8次総合計画及び第3期総合戦略 骨子（案）について

令和7年度第2回上市町総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略審議会

令和7年10月10日

地域創生Coデザイン研究所



第1章：インプットの整理

1.1 人口動態からの示唆（人口観点）

- ▶ 人口は前期計画策定時の2025年推計値18,465人に対し、2025年7月末時点で18,411人とほぼ一致している。
- ▶ しかし、合計特殊出生率は前期計画の想定値の1.9に届かず1.3～1.4で推移しており、今後も人口は減少する見込み。
- ▶ 移住定住施策により2023年には社会増を達成したことから、政策効果で人口減少を緩やかにできる可能性はある。

① 人口減少は不可避であり、適応が必要

- ・上市町の人口は1985年の24,100人から2020年には19,351人へと減少。
- ・高齢化率は近隣市町村の中でも最も高く、少子高齢化が深刻。
- ・合計特殊出生率は1.30～1.40で推移し、富山県の希望出生率1.9には届かず。
- ・若年女性の転出超過が顕著で、進学・就職による流出が続いている。

➡ 人口減少に抗うのではなく、「縮充型社会」への転換が必要

② 将来人口推計は「挑戦と現実のバランス」が鍵

- ・現行の人口ビジョンでは2060年の目標人口を12,907人と設定（富山県準拠）。
- ・今回の改訂では、出生率1.5維持+社会移動均衡を前提とした推計を推奨。
- ・より現実的な仮定に基づき、政策効果を反映した推計が求められる。

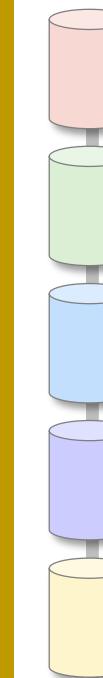
➡ 「希望的観測」ではなく、実現可能性を重視した人口目標設定が必要

③ 人口構造・自然増減・社会増減・産業構造の4観点の課題

- ・人口構造：減少率・高齢化率ともに県内最大級 → 地域社会の持続性が危機的
- ・自然増減：出生率低迷・死亡数増加 → 自然減が継続
- ・社会増減：若年層の転出超過が続く一方、移住定住施策により2023年には社会増を達成
- ・産業構造：製造業が主軸だが、町民の6割が町外通勤 → 地域内雇用の創出が課題

➡ 人口減少の構造的要因に対し、分野横断的な施策が必要

次期総合戦略の方向性 5つの柱



若者の選択肢が広がるまちづくり
(Uターン、住宅支援)

安心して子どもを育てられるまちづくり
(経済支援、地域連携)

住みたい・暮らし続けたいまちづくり
(空き家活用、魅力発信)

地域産業の高度化と地域内雇用の創出
(企業誘致、ブランド化)

魅力あるふるさとづくり
(多世代交流、地域活動促進)

人口減少社会における「暮らしの質の向上」と
「地域の持続性」の両立が戦略の核

1.2 住民アンケートからの示唆（住民目線①）

- 課題感の強さは属性、地域によって異なるため、世代・地域別の対応が必要（例：子育て世代は経済支援と住宅支援、高齢者は医療・交通に課題。南加積・山加積は医療、相ノ木は子育て支援、白荻・陽南は学校統合の不安対策）。
- 『子育て支援、医療、教育』および『中心市街地にぎわい、商業、公共交通』は課題に思う属性が近いため、分野を横断する統合的な支援策の設計と連携体制が必要。

① 重要度が高いが満足度が低い分野に課題が集中

- ・「医療」「子育て支援」「小・中学校教育」「除雪」「公共交通」「商業・サービス振興」「中心市街地のにぎわい」は、重要度が高く満足度が低い=課題感が強い。
- ・特に「医療」は全項目中で最も重要度が高く、満足度が低い。
- ・「中心市街地のにぎわい」は重要度5・満足度1の回答者数が最多。

➡ 住民の生活に直結する分野で、期待と現実のギャップが大きい。

② 課題感の強さは属性・地域によって偏りがある

- ・医療：南加積地区の40代女性に課題感が集中（診療所閉鎖の影響）。
- ・子育て支援：30～50代女性、特に相ノ木地区で強い。
- ・教育：40代女性に強く、学校統合への不安が背景。
- ・除雪：子育て世代・転入者に強い。地元民との認識差あり。
- ・公共交通：女性30代・50代、要介護家族を持つ層に強い。
- ・商業・サービス：南加積・相ノ木など中心部から離れた地域で不満。
- ・中心市街地のにぎわい：30代女性・50代女性・60代男性に強い。

➡ 世代・地域・家族構成によってニーズが異なるため、きめ細かな対応が必要。

③ 定住意向はやや増加傾向、転出意向者も課題感の対象は共通

- ・R2→R6で定住意向がやや増加。
- ・ただし、転出意向者も課題感の対象は定住意向者とほぼ同じ。
- ・転出意向者は「医療」「子育て」「除雪」「交通」などに対する不満が強い。

➡ 定住促進には、生活の質の向上が不可欠。

④ 分野間の「近さ」を意識した政策連携が必要

- ・「子育て支援」「医療」「教育」は課題感の強い層が重複 → 統合型支援が有効。
- ・「中心市街地のにぎわい」「商業」「公共交通」も近く、地域活性化施策の連携が必要。
- ・「除雪」は他分野とやや独立 → 世代・地域別の対応が求められる。

➡ 分野横断型の施策設計と連携体制の構築が鍵。

重点施策への示唆 7つの方向性

1. 子育て・教育・医療の連携強化
2. 中心市街地活性化+移動手段の調査研究
3. 降雪状況に応じた柔軟な除雪対応
4. 若年層・子育て世代への住宅・経済支援
5. 高齢者向け医療・交通アクセス確保
6. 多様な世代に応じた移住・定住支援
7. 分野横断型のまちづくり推進体制

1.3 住民ワークショップからの示唆（住民目線②）

- 住民ワークショップは中高生と多世代で1回ずつ実施し、上市町の「魅力・良いところ」と「課題・足りないところ」を挙げたうえで、今後「重点的に取り組むべきテーマ」を議論。
- 中高生・多世代で共通して、上市町の良いところを「自然・環境」、足りないところを「にぎわい・娯楽」とした。
- 加えて、中高生では交通手段の少なさ・不便さが際立ち、自動車免許を持たないことが影響していると推察された。

■中高生ワークショップにおける意見

分野	魅力・良いところ	課題・足りないところ	重点的に取り組むべきテーマ
自然・環境	剱岳や山の景観、自然の豊かさ、空気・水・米の美味しさ（最多意見）	害獣（熊・鹿）、蜂が多い、木が倒れそう	自然を壊さず豊かに保つ
人・地域のつながり	地域の人が優しい、町民同士の仲の良さ、あいさつ文化	—	—
食・地元資源	地元グルメ（サンタエンジエル、ブブプリン）、田んぼの多さ	コンビニの種類が少ない（セブン・ローソン）	—
にぎわい・娯楽	映画「おおかみこどもの雨と雪」の聖地、レトロな雰囲気	イオンや映画館、カフェ、イベント、遊ぶ場所の不足（最多意見）	カミールの改修、イベントの拡充、カフェの設置、上市駅の改修（2グループ）
生活環境	ゴミが少ない	自習場所の不足、ポイ捨て、街灯の暗さ	ポイ捨て対策
交通・インフラ	電車の本数が多い	道路・歩道の狭さ、駅の華やかさ不足、交通手段の少なさ	道路整備、移動手段の充実（2グループ）
高齢化・福祉	—	高齢化、介護施設や病院の不足	—
防災・その他	時計のアラーム、コンビニが多い（ファミマ）	震災時の家屋倒壊、新しいものが少ない	空き家リフォーム支援

■多世代ワークショップにおける意見

分野	魅力・良いところ	課題・足りないところ	重点的に取り組むべきテーマ
自然・環境	水・空気の美味しさ、剱岳、温泉、星空、静かな雰囲気（最多意見）	—	—
人・地域のつながり	地域住民の親切さ、有志の活動、つながりの強さ	地域活動が高齢者中心、変化への抵抗	—
食・地元資源	海の幸・山の幸、湧き水スポット、景観	—	—
にぎわい・娯楽	—	上市駅の寒々しさ、飲食店・娯楽施設の不足（最多意見）	上市駅の整備・活性化（3グループ）
生活環境	コンパクトシティ、除雪対応、アクセスの良さ	子育て支援の不足、図書館の充実、耕作放棄地	医療・子育て支援の充実
交通・インフラ	駅・スマートインターの存在	公共交通の不足、ライドシェアの必要性、道の狭さ	交通手段の多様化
高齢化・福祉	—	産婦人科・耳鼻科の不足、単身者向け住居の不足	医療体制の充実
防災・その他	—	Uターン支援の条件、町関係機関の対応	空き家活用、町の魅力発信
情報発信・観光	映画の聖地、観光資源（大岩・剱岳）	魅力の発信不足、観光資源の活用不足	発信方法の検討、映画資源の活用
経済・産業	—	企業誘致の必要性、働く場所の不足	雇用創出のための施策

1.4 原課ヒアリングからの示唆（職員目線）

- 中心市街地のにぎわい、公共交通、除雪は住民と職員との間に課題感のギャップがあるため、対応策が必要。
- 分野共通の課題に人材不足と情報発信があげられたが、即時性と効果が期待できる情報発信に着手すべき。
- DX、デジタル活用は全庁的な方針と支援体制の整備が求められる。

① 職員の課題感は「教育」「移住・定住」「行財政」に集中

- ・小・中学校の教育（学校統合、ICT格差、教職員の労働環境）
- ・移住・定住促進（0円バンクの申込減、戦略の不在）
- ・行財政運営（財政健全化、ふるさと納税推進）

➡ 制度・財政・人材体制の限界を踏まえた現実的な施策設計が求められている。

② 住民と職員の課題感にギャップがある

- ・住民が重視する「中心市街地のにぎわい」「公共交通」「除雪」は、職員側では上位に入っていない。
- ・一方で「教育」「医療」「子育て支援」「商業・サービス業」は住民・職員の両方で共通して課題感が強い。

➡ 住民ニーズと職員の肌感覚のズレを埋める対話と可視化が必要。

③ 共通課題は「人材不足」と「情報発信」

- ・どの分野でも「担い手不足」「魅力が伝わらない」「制度が知られていない」といった声が多い。
- ・特に「医療」「子育て支援」「教育」では、支援の中身は充実しているが伝わっていないという課題が顕著。

➡ 「やっているのに伝わらない」問題を解消する広報・PR戦略が急務。

④ DX・ICT活用の可能性は高いが、導入には壁も多い

- ・各分野でデジタル化のニーズは明確（例：放課後児童クラブ管理、医療案内、公共交通予約など）。
- ・ただし、スキル不足・予算不足・方針不明確が導入の障壁に。

➡ 「使いたい人だけ使う」ではなく、全庁的な方針と支援体制が必要。

住民の課題感の強い7つの分野の整理（住民×職員×DX）

分野	住民課題	職員課題	DX活用の方向性
子育て支援	育児負担、制度の不満	制度改善、魅力発信	母子手帳アプリ、申請電子化
医療	医療アクセス、情報不足	病床・診療科見直し、DX未着手	院内DX、案内効率化
教育	統合不安、少人数教育期待	周知不足、ICT格差	教育DX、生成AI活用
中心市街地	にぎわい不足、世代差	駅空間刷新、廃校活用	SNS発信、デジタル案内
商業・サービス	利便性低下、町外流出	戦略不在、PR不足	名刺・PJ管理ツール
公共交通	利用制約、生活の質低下	担い手不足、住民理解不足	予約管理、広報ICT
除雪	子育て世代・転入者に負担	丁寧な除雪が伝わらない	(ICT活用は未検討)

1.5：審議委員からのご意見

審議委員からの主なコメントは以下の通り（2025.8.26第1回審議会）

分野	共通課題	提案・改善策	発言者と発言内容	
つながる つながる	子育て・定住 教育・人材育成	若者流出、 子育て世帯の不安、 住宅支援の不足 教育施策の継続性不足、 地域との接点が弱い	子育て支援の魅力発信、 子育て世帯の交流促進、 住宅取得支援 地域企業との連携授業、 課題研究の継続、 小中高の接続強化	瀬川さま（男女共同参画）：子育て環境の魅力と閉塞感 湯上さま（保育園）：第2子無償化の効果 岡崎さま（信金）：子育て世帯の交流促進 高島さま（教育委員）：地域企業との連携授業の重要性 安井さま（高校）：課題研究による地域愛育成 小柴さま（コージン）：職業体験の改良提案
にぎわう にぎわう	観光・交流 産業・農林業	観光施策がマンネリ化、 町外発信力不足 企業誘致不足、 農業担い手不足、 古民家未活用	若者育成環境の整備、 町外参加型イベント、 地域資源の磨き上げ 企業創出支援、 古民家整備	井上さま（観光協会）：観光がマンネリ化、富山市に近い利点を活かすべき 岡崎さま（信金）：町外参加型イベントの提案 三輪さま（農協）：県外客が上市の魅力を感じている 井上さま（観光協会）：企業創出の必要性 三輪さま（農協）：古民家活用の可能性 平井さま（森林組合）：林業担い手不足と統合提案
にぎわう	交通・インフラ	施設アクセスの課題、 交通手段の不足	体育館の案内改善、 児童館的施設整備、 交通手段の充実	横山さま（スポーツ協会）：体育館アクセスの課題 瀬川さま（男女共同参画）：児童館的施設整備と交通手段の充実
ささえあう	福祉・ 地域コミュニティ	町内会担い手不足、 老々介護、 閉塞感	世代間交流の場づくり、 介護支援強化、 アンコンシャスバイアスの解消	吉田さま（福祉協議会）：町内会担い手不足と老々介護 瀬川さま（男女共同参画）：アンコンシャスバイアスの解消 小柴さま（コージン）：方言教室の提案

第2章：骨子案の策定

2.1 骨子案策定等の手順

➤ 以下の手順での骨子案を策定。また、骨子案策定とともに重点施策の選定の考え方を整理する。



順序	概要	具体的な内容
手順1	総合戦略の重点施策の方向性の検討	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口観点、住民目線、職員目線の分析結果に基づき、現・総合戦略の重点施策の方向性を検討 ➤ 方向性と現・重点施策の内容を照らし合わせ、重点施策の変更有無を判断
手順2	既存個別施策の分野の棚卸	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 現・総合計画の個別施策について、施策内容に基づき、まちづくりアンケートにおける分野に割付
手順3	重点施策の選定の考え方の整理	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 手順1および手順2を踏まえ、重点施策の選定の考え方を、【要件1】分野による判断、【要件2】施策内容による判断の2要件で整理

本日のご説明対象外

手順4	既存個別施策の仕分け	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 手順3で整理した要件に基づいて、既存個別施策が重点施策にあたるかどうかを仕分け
手順5	重点対象外の既存個別施策の重点化アップグレード検討	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 手順4で重点施策対象外に仕分けられた既存個別施策について、施策内容の変更によって重点施策化できるかを検討
手順6	新規追加施策の仕分けおよび重点化検討	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 原課より提出された新規追加施策について、手順4および手順5と同様に仕分けたうえで、重点施策化できるかを検討
手順7	DX推進計画の要素を包括	<ul style="list-style-type: none"> ➤ DX推進計画の要素の各施策への反映を検討

2.2.1 手順1：総合戦略の重点施策の方向性の検討（方向性の整理）

- 人口観点、住民目線、職員目線の3つのインプットから重点施策の方向性を検討（仮案）。[ポイント1]
- また、原課ヒアリングにて分野共通課題であったシティプロモーションについては、全庁横断での実施を掲げる。[ポイント2]

ポイント2

全庁横断によるシティプロモーション			
戦略名	基本目標	重点施策	事業
1 つながる上市	幸せでわくわくのミライへ “つながる” 子育て・教育	<ul style="list-style-type: none"> ⑦ 結婚の希望を叶え安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり ⑧ 地域全体で子どもを守り育てる環境づくり ⑨ 地域の一員として活躍できる子どもたちを育むためのインクルーシブ教育の推進 ⑩ 郷土への誇りと愛着を育てアイデンティティを醸成する教育の推進 	重 点 施 策 に 基 づ く 事 業
2 にぎわう上市	変化と継承へのチャレンジで “にぎわう” 産業・基盤	<ul style="list-style-type: none"> ⑪ デジタル技術の活用により新事業を創出するチャレンジ ⑫ 地域資源を活用した観光・交流の促進と新たな上市ブランドの開発・販路拡大へのチャレンジ ⑬ 担い手育成により地域産業をミライへ継承するチャレンジ ⑭ 都市からのひと・もの・しごとの流れを生む魅力ある基盤づくりのチャレンジ 	
3 ささえあう上市	守るべきものを守り、みんなで “ささえあう” 安全・安心な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ⑮ 防災・減災と交通安全の確保等による安全・安心な暮らしを守る ⑯ 自助・共助・公助の連携と健康づくりでいきいきとした生活を守る ⑰ かみいち総合病院を応援し地域の医療体制のミライを守る ⑱ 地域と密着した活動で上市高校のミライを守る 	

ポイント1

現・重点施策タイトル	インプットに基づく方向性	根拠（ページ・キーワード）
結婚の希望を叶え安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり	住民・職員ともに課題感が強い「子育て・教育・医療」を統合的に支援し、情報発信も強化する	P3, P5 「子育て支援、医療、教育の統合型支援拠点」「情報発信強化」「重要度が高いが満足度が低い分野」「やっているのに伝わらない」
地域全体でこどもを守り育てる環境づくり	地域・学校・家庭が連携し、地域で子どもを支える体制を強化する	P3 「地域・学校・家庭の連携強化」「地域で支える環境の整備」「世代・地域別の対応が必要」
地域の一員として活躍できる子どもたちを育むためのインクルーシブ教育の推進	多様性尊重とICT活用で、誰もが学びやすい教育・保育を推進する	P3, P5, P6 「多様性尊重の教育・保育」「教員ICT支援」「GIGAスクール推進」「ICT格差」
郷土への誇りと愛着を育てアイデンティティを醸成する教育の推進	子どもの地域とのつながりと郷土への誇りと愛着を育む	P6 「子どもと地域とのつながり」「地域との接点が弱い」「地域愛育成」「地域企業との連携」
デジタル技術の活用により新事業を創出するチャレンジ	自然環境の魅力を活かしたイベントにより、まち中にぎわいを創出する	P4, P6 「自然環境の魅力」「富山市に近い利点を活かす」
地域資源を活用した観光・交流の促進と新たな上市ブランドの開発・販路拡大へのチャレンジ	地域資源やSNS等を活用し、観光・交流・ブランド発信を強化する	P5, P6 「魅力の発信不足」「観光資源の活用不足」「観光施策がマンネリ化」
担い手育成により地域産業をミライへ継承するチャレンジ	担い手の誘致・育成により地域内雇用創出と産業継承を目指す	P2, P6 「地域内雇用の創出」「農業担い手不足」「職業体験の改良」
都市からのひと・もの・しごとの流れを生む魅力ある基盤づくりのチャレンジ	空き家活用・住宅支援・交通基盤確保で定住促進と生活の質向上を図る	P2, P3 「空き家活用」「住宅補助」「交通基盤整備」「生活の質向上」「古民家未活用」
防災・減災と交通安全の確保等による安全・安心な暮らしを守る	除雪・交通・防災を世代・地域ごとに強化し、ICTも活用する	P3, P5 「除雪支援の世代・地域別強化」「交通アクセス確保」「デジタル防災マップ」「ICT活用」
自助・共助・公助の連携と健康づくりでいきいきとした生活を守る	健診予約や健康講座のデジタル化で健康づくりを推進する	P5 「健診予約のLINE化」「健康講座のデジタル配信」「健康づくり推進」
かみいち総合病院を応援し地域の医療体制のミライを守る	総合病院支援や医療DXで地域医療体制の維持・強化を図る	P5 「かみいち総合病院を応援」「院内DX」「医療アクセス」「地域医療体制のミライ」
地域と密着した活動で上市高校のミライを守る	地域と密着した活動やICT活用で高校の魅力・機能を維持・強化する	P5 「地域と密着した活動」「ICT活用」「教育DX」「上市高校のミライ」

2.2.2 手順1：総合戦略の重点施策の方向性の検討（変更有無）

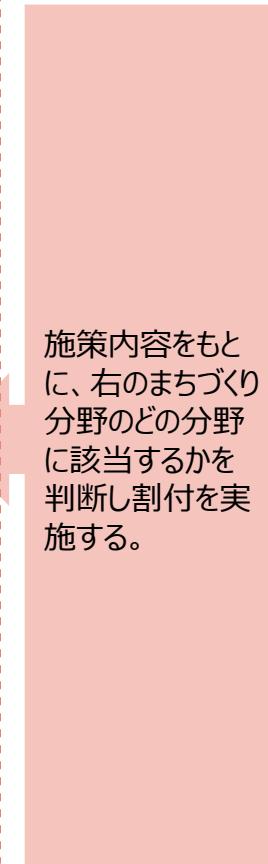
- 前頁の方向性と現・重点施策の内容を照らし合わせ、重点施策の変更有無を判断。
- インプットに基づく方向性が、内容的に現行踏襲の場合は変更しない。

全庁横断によるシティプロモーション				
戦略名	基本目標	重点施策	事業	
 ©2012 W.C.FP	1 つながる上市 幸せでわくわくのミライへ “つながる” 子育て・教育	<ul style="list-style-type: none"> ⑦ 結婚の希望を叶え安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり ⑧ 地域全体で子どもを守り育てる環境づくり ⑨ 地域の一員として活躍できる子どもたちを育むためのインクルーシブ教育の推進 ⑩ 郷土への誇りと愛着を育てアイデンティティを醸成する教育の推進 	重点施策に基づく事業	
	2 にぎわう上市 変化と継承へのチャレンジで “にぎわう” 産業・基盤	<ul style="list-style-type: none"> ⑪ デジタル技術の活用により新事業を創出するチャレンジ ⑫ 地域資源を活用した観光・交流の促進と新たな上市ブランドの開発・販路拡大へのチャレンジ ⑬ 担い手育成により地域産業をミライへ継承するチャレンジ ⑭ 都市からのひと・もの・しごとの流れを生む魅力ある基盤づくりのチャレンジ 		
	3 ささえあう上市 守るべきものを守り、みんなで “ささえあう” 安全・安心な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ⑮ 防災・減災と交通安全の確保等による安全・安心な暮らしを守る ⑯ 自助・共助・公助の連携と健康づくりでいきいきとした生活を守る ⑰ かみいち総合病院を応援し地域の医療体制のミライを守る ⑱ 地域と密着した活動で上市高校のミライを守る 		
		現・重点施策タイトル	インプットに基づく方向性	重点施策の変更有無・考え方
ア	結婚の希望を叶え安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり	住民・職員ともに課題感が強い「子育て・教育・医療」を統合的に支援し、 情報発信も強化する	変更有	結婚よりも子育て世帯にフォーカスし、妊娠～出産～子育ての統合的な支援強化をタイトルに盛り込む
イ	地域全体でこどもを守り育てる環境づくり	地域・学校・家庭が連携し、地域で子どもを支える体制を強化する	変更無	内容的には現行踏襲のため、変更しない
ウ	地域の一員として活躍できる子どもたちを育むためのインクルーシブ教育の推進	多様性尊重とICT活用で、誰もが学びやすい教育・保育を推進する	変更無	内容的には現行踏襲のため、変更しない
エ	郷土への誇りと愛着を育てアイデンティティを醸成する教育の推進	子どもの地域とのつながりと郷土への誇りと愛着を育む	変更無	内容的には現行踏襲のため、変更しない
ア	デジタル技術の活用により新事業を創出するチャレンジ	自然環境の魅力を活かしたイベントにより、まち中にぎわいを創出する	変更有	上市町の強みである豊かな自然環境の活用をタイトルに盛り込む
イ	地域資源を活用した観光・交流の促進と新たな上市ブランドの開発・販路拡大へのチャレンジ	地域資源やSNS等を活用し、観光・交流・ブランド発信を強化する	変更有	地域資源や地域ブランドの認知向上に向けた発信をタイトルに盛り込む
ウ	担い手育成により地域産業をミライへ継承するチャレンジ	担い手の誘致・育成により地域内雇用創出と産業継承を目指す	変更有	担い手の育成だけではなく誘致をタイトルに盛り込む
エ	都市からのひと・もの・しごとの流れを生む魅力ある基盤づくりのチャレンジ	空き家活用・住宅支援・交通基盤確保で定住促進と生活の質向上を図る	変更無	内容的には現行踏襲のため、変更しない
ア	防災・減災と交通安全の確保等による安全・安心な暮らしを守る	除雪・交通・防災を世代・地域ごとに強化し、ICTも活用する	変更無	内容的には現行踏襲のため、変更しない
イ	自助・共助・公助の連携と健康づくりでいきいきとした生活を守る	健診予約や健康講座のデジタル化で健康づくりを推進する	変更無	内容的には現行踏襲のため、変更しない
ウ	かみいち総合病院を応援し地域の医療体制のミライを守る	総合病院支援や医療DXで地域医療体制の維持・強化を図る	変更無	内容的には現行踏襲のため、変更しない
エ	地域と密着した活動で上市高校のミライを守る	地域と密着した活動やICT活用で高校の魅力・機能を維持・強化する	変更無	内容的には現行踏襲のため、変更しない

2.3.1 手順2：既存個別施策の分野の棚卸（1/2）

- 現・基本計画の個別施策について、まちづくりアンケートにおける29のまちづくり分野に割付を実施し、現状の分野の分布状況を明らかにする。
- これにより、住民において課題感が強い分野に対する施策配置の現状を確認可能にする。

基本計画		まちづくり分野の確認	
施策No-統合②	施策名	まちづくり分野1	まちづくり分野2
1 つながる上市 1-2-1	子育てに関する情報提供・相談体制の強化	子育て支援	—
1 つながる上市 1-2-2	家庭や地域における子育て環境の充実	子育て支援	—
1 つながる上市 1-2-3	母子保健の充実	子育て支援	—
1 つながる上市 1-2-4	仕事と子育ての両立支援	男女共同参画	—
1 つながる上市 1-2-5	すべての子どもが健やかに成長できる環境の整備	子育て支援	—
1 つながる上市 2-1-1	教育内容の充実	小・中学校の教育	—
1 つながる上市 2-1-2	教育環境の充実	小・中学校の教育	—
1 つながる上市 2-1-3	地域と共に取り組む学校づくり	小・中学校の教育	—
1 つながる上市 2-2-1	生涯学習活動の推進	生涯学習環境	—



施策内容をもとに、右のまちづくり分野のどの分野に該当するかを判断し割付を実施する。

まちづくり分野（全29分野）

保健（健診・健康講座など）
医療
高齢者への介護・福祉
障害者への支援
子育て支援
移住・定住促進
公園・道路整備
公共交通
上・下水道
ごみ収集
消防・防災
除雪
交通安全
防犯
小・中学校の教育
生涯学習環境
スポーツの振興
歴史・文化の保全・活用
農林業の振興
工業の振興
商業・サービス業の振興
中心市街地にぎわい
観光の振興
国際交流
男女共同参画
地域の情報化
コミュニティづくり
行財政運営
公共施設

2.3.2 手順2：既存個別施策の分野の棚卸（2/2）

- 現・基本計画の個別施策のまちづくり分野の割付結果は以下の通り。
- 住民アンケートの分析において、住民の課題感が強いと判断された7つの分野については、「除雪」を除き重点施策が存在していることが確認できた。

まちづくり分野No	まちづくり分野	該当施策数	重点施策該当数	住民の課題感	住民の課題感を重点分野に反映できているか
1	保健（健診・健康講座など）	3	3	課題感「中・弱」	OK
2	医療	3	2	課題感「強」	OK
3	高齢者への介護・福祉	2	1	課題感「中・弱」	OK
4	障害者への支援	1	1	課題感「中・弱」	OK
5	子育て支援	8	5	課題感「強」	OK
6	移住・定住促進	4	4	課題感「中・弱」	OK
7	公園・道路整備	3	0	課題感「中・弱」	OK
8	公共交通	1	1	課題感「強」	OK
9	上・下水道	2	0	課題感「中・弱」	OK
10	ごみ収集	1	0	課題感「中・弱」	OK
11	消防・防災	3	2	課題感「中・弱」	OK
12	除雪	1	0	課題感「強」	要確認
13	交通安全	1	1	課題感「中・弱」	OK
14	防犯	1	1	課題感「中・弱」	OK
15	小・中学校の教育	3	3	課題感「強」	OK
16	生涯学習環境	2	1	課題感「中・弱」	OK
17	スポーツの振興	3	0	課題感「中・弱」	OK
18	歴史・文化の保全・活用	3	1	課題感「中・弱」	OK
19	農林業の振興	4	2	課題感「中・弱」	OK
20	工業の振興	3	2	課題感「中・弱」	OK
21	商業・サービス業の振興	4	3	課題感「強」	OK
22	中心市街地のにぎわい	1	1	課題感「強」	OK
23	観光の振興	2	1	課題感「中・弱」	OK
24	国際交流	1	0	課題感「中・弱」	OK
25	男女共同参画	3	0	課題感「中・弱」	OK
26	地域の情報化	4	2	課題感「中・弱」	OK
27	コミュニティづくり	3	0	課題感「中・弱」	OK
28	行財政運営	2	0	課題感「中・弱」	OK
29	公共施設	1	0	課題感「中・弱」	OK



基本計画の個別施策 一部抜粋

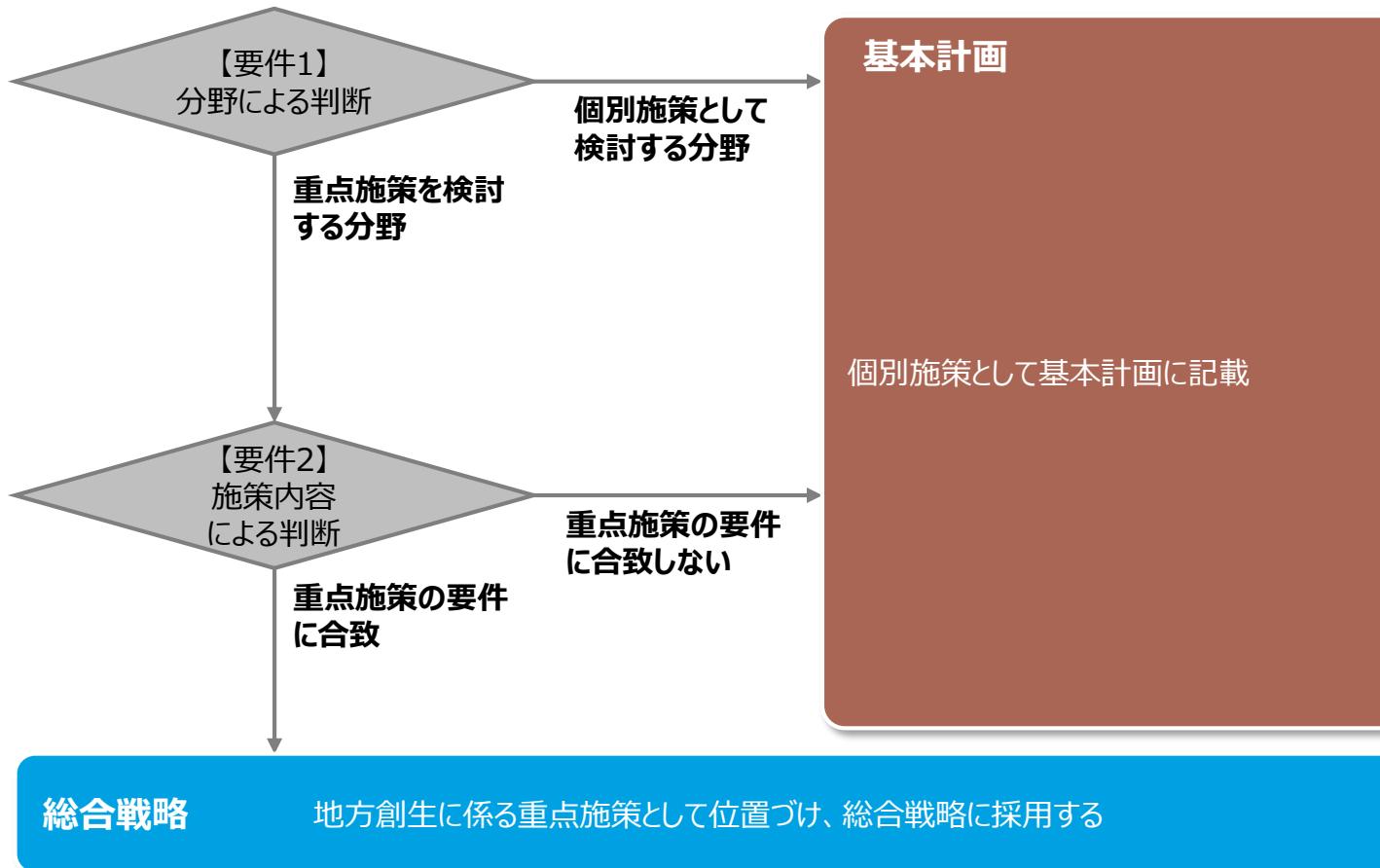
施策の内容	1 - 1 - 1 担い手の確保・支援  にぎわう上市 ウ <small>地元の農業者だけでなく、U・I・Jターンによる町外も含めて地元の入材など多様な農業及び食育の担い手の確保を推進することとともに、農業技術の習得のための支援や、研修を希望される方を高収益作物栽培や有機農法の活用などに取り組む先進農家へ紹介するなど、持続可能な担い手の育成に取り組みます。</small>
1 - 1 - 2 生産性向上に向けた取組	 にぎわう上市 イ <small>農業特産物のブランド化を推進し、担い手の所得向上を図るとともに、里芋など上市ブランドの安定生産を支援します。 ★新規就農希望者と農業法人等とのマッチングや就農促進に向けた取組を支援し、地域農業の次世代へ担う人材の確保、育成を図ることとともに、円滑な就農手続きを支援します。</small>
1 - 1 - 3 森林資源の保全と活用	 森林資源の保全と活用 <small>森林の状態を立地条件、地域ニーズ等を反映した森づくりを基本としつつ、木材生産の増大に向け、森林施業の集約化を進めます。</small>
1 - 1 - 4 有害鳥獣対策への支援の強化	 有害鳥獣対策への支援の強化 <small>森林の状態を立地条件、地域ニーズ等を反映した森づくりを基本としつつ、木材生産の増大に向け、森林施業の集約化を進めます。</small>

重点施策（おおかみこどもアイコンが付与された）の数をカウント

- 住民アンケートの分析において、住民の課題感が強いとされた7つの分野（「医療」「子育て支援」「公共交通」「除雪」「小・中学校の教育」「商業・サービス業の振興」「中心市街地のにぎわい」）について、「除雪」を除き重点施策が存在。
- 住民の課題感が強い分野は、概ね漏れなく重点施策が存在することが確認できた。
- なお、以下の2施策については、該当する分野が存在しなかった。
 - 自然環境の保全
 - 地球上にやさしいまちづくりの推進

2.4.1 手順3：重点施策の選定の考え方の整理（概要）

- 現・総合戦略における重点施策は、アニメ「おおかみこどもの雨と雪」の世界観をベースに、地域創生に係ると考えられる分野において、具体的な施策として落とし込まれている。
- 具体的には、重点施策を検討するべき分野か否かという分野の判断【要件1】、そのうえで、施策内容が重点施策の要件に合致するか否かという施策内容の判断【要件2】という、2段階の要件で重点施策は選定されていると整理できる。



- 【要件1】、【要件2】については、次頁・次々頁で、これまでの各種分析結果を踏まえて、改めて設計し直す

2.4.2 手順3：重点施策の選定の考え方の整理（要件1）

- 要件1の分野による判断については、前述の通り、住民アンケート分析において、住民の課題感が強いとされた分野は概ね重点施策が存在しているため、**現状において重点施策が存在するか否かを基本とする。**
- なお、住民の課題感が強いものの重点施策が唯一存在しなかった「除雪」については、住民アンケートではR5年の大雪に対するバイアスが生じている（原課ヒアリング時に確認済）ため、**重点分野化は不要と判断。**
- 一方で、既存個別施策のうち、「自然環境の保全」「地球にやさしいまちづくりの推進」の2施策について、該当するまちづくり分野が存在しておらず、かつ上市町らしさである自然関連の分野がまちづくり分野自体に存在しないため、**「自然環境の保全と共生（仮）」という分野を新たに作り、重点施策を検討する分野に追加する。**

重点施策を検討するべき分野

現・総合計画において、重点施策が存在する分野

保健（健診・健康講座など）	小・中学校の教育
医療	生涯学習環境
高齢者への介護・福祉	歴史・文化の保全・活用
障害者への支援	農林業の振興
子育て支援	工業の振興
移住・定住促進	商業・サービス業の振興
公共交通	中心市街地のにぎわい
消防・防災	観光の振興
交通安全	地域の情報化
防犯	

個別施策で検討するべき分野

現・総合計画において、重点施策が存在しない分野

公園・道路整備
上・下水道
ごみ収集
除雪
スポーツの振興
国際交流
男女共同参画
コミュニティづくり
行財政運営
公共施設



上市町らしさである自然関連の
分野を追加

自然環境の保全と共生（仮）

住民アンケートにおいて住民の課題感が強いことが判明した分野

2.4.3 手順3：重点施策の選定の考え方の整理（要件2）

- 要件2の施策内容による判断については、まず現・総合戦略より現行の重点施策の要件を洗い出したのちに、手順1で検討した方向性をもとに、改めて重点施策の要件を設定する。

現・総合戦略の重点施策の要件

要件	内容
① 子育て支援の充実と人材育成（基本目標1：つながる上市）	
子育て環境の整備	結婚・妊娠・出産・母子保健・保育サービスなどの充実
教育の特色化	自然体験やICTを活用した学びの取り入れ
人間力・社会性の育成	地域の将来を担う子どもたちの力を育む教育
地域とのつながり	地域資源を活かした学びや交流
② 移住者の受け入れと地域活性化（基本目標2：にぎわう上市）	
魅力発信	「住みたい」「働きたい」と思える町の魅力の発信
自然資源の活用	剣岳や自然を活かした観光・交流施策
雇用の創出	地域産業の活性化や仕事の提供体制の整備
住環境の整備	空き家活用など、移住者が住める環境の整備
基盤整備	交通・インフラなどの生活基盤の充実
③ 地域のつながりと幸福度向上（基本目標3：ささえあう上市）	
安心・安全な生活	地域資源を守り、安心して暮らせる環境の整備
地域交流の促進	住民同士の温かな交流の促進
支え合いの仕組み	地域での助け合い活動の充実
幸福度向上	暮らしの満足度や幸福感を高める施策

手順1で整理した
方向性をもとに
見直し

重点施策の方向性に基づく見直し後の要件

要件	内容
① 子育て支援の充実と人材育成（基本目標1：つながる上市）	
切れ目のない子育て支援	妊娠・出産・子育てに安心感を与える支援制度
教育の特色化	自然体験やICTを活用した学びの取り入れ
人間力・社会性の育成	地域の将来を担う子どもたちの力を育む教育
地域とのつながり	地域資源を活かした学びや交流
② 移住者の受け入れと地域活性化（基本目標2：にぎわう上市）	
魅力の認知向上	住民のシビックプライド醸成に向けた地元の魅力の認知向上
自然を活かしたにぎわい創出	上市らしさを活かしたイベントや街中のにぎわいの創出
担い手の誘致・育成	農業、地場産業に興味のある移住者向け情報発信
住環境の整備	空き家活用など、移住者が住める環境の整備
基盤整備	交通・インフラなどの生活基盤の充実
③ 地域のつながりと幸福度向上（基本目標3：ささえあう上市）	
安心・安全な生活	地域資源を守り、安心して暮らせる環境の整備
地域交流の促進	住民同士の温かな交流の促進
支え合いの仕組み	地域での助け合い活動の充実
幸福度向上	暮らしの満足度や幸福感を高める施策

※朱書き：更新箇所

第3章：骨子案

3.1 重点施策タイトル案

- 手順1における方向性と変更有無、および手順3要件2（施策要件）を踏まえ新・重点施策タイトル（案）を作成。
- なお、手順3で整理した要件1（分野）も改めて確認。

	現・重点施策タイトル		新・重点施策タイトル（案）	対応するまちづくり分野			
ア	結婚の希望を叶え安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり	変更有	こどもから若者、子育て世帯までの切れ目のない支援による安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり	子育て支援	移住・定住促進		
イ	地域全体でこどもを守り育てる環境づくり	変更無	地域全体でこどもを守り育てる環境づくり	子育て支援			
ウ	地域の一員として活躍できる子どもたちを育むためのインクルーシブ教育の推進	変更無	地域の一員として活躍できる子どもたちを育むためのインクルーシブ教育の推進	小・中学校の教育			
エ	郷土への誇りと愛着を育てアイデンティティを醸成する教育の推進	変更無	郷土への誇りと愛着を育てアイデンティティを醸成する教育の推進	生涯学習環境	歴史・文化の保全・活用		
ア	デジタル技術の活用により新事業を創出するチャレンジ	変更有	上市らしさを活かした魅力あるイベントとまちなかのにぎわい創出へのチャレンジ	中心市街のにぎわい	商業・サービス業の振興		
イ	地域資源を活用した観光・交流の促進と新たな上市ブランドの開発・販路拡大へのチャレンジ	変更有	地域資源を活用した地元の魅力の認知向上へのチャレンジ	観光の振興	農林業の振興	新分野 自然環境の保全と共生（仮）	
ウ	担い手育成により地域産業をミライへ継承するチャレンジ	変更有	担い手の誘致・育成により地域産業をミライへ継承するチャレンジ	商業・サービス業の振興	農林業の振興	工業の振興	
エ	都市からのひと・もの・しごとの流れを生む魅力ある基盤づくりのチャレンジ	変更無	都市からのひと・もの・しごとの流れを生む魅力ある基盤づくりのチャレンジ	商業・サービス業の振興	公共交通	移住・定住促進	地域の情報化
ア	防災・減災と交通安全の確保等による安全・安心な暮らしを守る	変更無	防災・減災と交通安全の確保等による安全・安心な暮らしを守る	消防・防災	防犯	交通安全	
イ	自助・共助・公助の連携と健康づくりでいきいきとした生活を守る	変更無	自助・共助・公助の連携と健康づくりでいきいきとした生活を守る	高齢者への介護・福祉	障害者への支援	保健（健診・健康講座など）	
ウ	かみいち総合病院を応援し地域の医療体制のミライを守る	変更無	かみいち総合病院を応援し地域の医療体制のミライを守る	医療			
エ	地域と密着した活動で上市高校のミライを守る	変更無	地域と密着した活動で上市高校のミライを守る	小・中学校の教育			

住民アンケートにおいて住民の課題感が強いことが判明した分野

3.2 骨子案

➤ 新・重点施策タイトル（案）に基づき、「基本的方向」と「重点施策内容」を書き換え、骨子案とする。

基本構想	基本計画（変更後）		
	基本目標	基本的方向（変更後）	重点施策タイトル（変更後）
つながる上市 ～幸せでわくわくのミライへ～ つながる”子育て・教育～	人口減少や少子化、核家族化といった状況が進行しているなか、子育て家庭の不安や負担感を軽減するため、こどもまんなか社会の理念のもと切れ目ない支援体制の整備をはじめ、保育環境の充実や地域全体で子どもを育てる機運の醸成、ICTの活用による学びの支援、郷土への愛着を育む教育など、子どもたちの健やかな成長とミライにつながる人づくりを総合的に推進します。	<p>ア こどもから若者、子育て世帯までの切れ目ない支援による安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり</p> <p>イ 地域全体で子どもを守り育てる環境づくり</p> <p>ウ 地域の一員として活躍できる子どもたちを育むためのインクリーチップ教育の推進</p> <p>エ 郷土への誇りと愛着を育てアイデンティティを醸成する教育の推進</p>	<p>子育て世帯への経済的支援や住宅支援、産前・産後ケアの充実、相談体制の強化、一時預かり事業などの保育環境の充実、きめ細やかな支援策を展開し、子育て家庭の不安や負担感の軽減を図ります。</p> <p>上市町の子どもをみんなで育てる機運を高め、地域子育て支援拠点への支援をはじめ、読書活動の充実、放課後の居場所づくりとして放課後児童クラブ等の多様な支援策を充実させていきます。</p> <p>個々の発達の度合に応じた学びを進め、基礎的な学力の定着を図るとともに、ＩＣＴを有効に活用することで、自ら考え学ぶ力を培い、地域の中で活躍できるしなやかで伸びしろのある子どもたちを育む教育を推進します。</p> <p>本町が持つ豊かな自然や歴史・文化を学び、郷土への誇りと愛着を育て、自己の確立を図るとともに、国際社会の中で自らを表現し、コミュニケーションがとれる子どもを育む教育を推進します。</p>
にぎわう上市 ～変化と継承へのチャレンジで～ “にぎわう”産業・基盤～	人口が減少しても心豊かに過ごせる社会を目指し、地域資源を活用した魅力あるイベント開催とまちなか（中心市街地）のにぎわい創出や、情報発信による地元の魅力の認知向上、地域産業の担い手の誘致・育成、都市との交流を生む基盤整備など、上市町の特長を最大限に活かしながら、官民連携によるにぎわいと活力のあるまちづくりに向けた取組にチャレンジします。	<p>ア 上市らしさを活かした魅力あるイベントやまちなかのにぎわい創出へのチャレンジ</p> <p>イ 地域資源を活用した地元の魅力の認知向上へのチャレンジ</p> <p>ウ 担い手の誘致・育成により地域産業をミライへ継承するチャレンジ</p> <p>エ 都市からのひと・もの・しごとの流れを生む魅力ある基盤づくりのチャレンジ</p>	<p>官民連携で上市町らしさを感じられるイベントを、特に頻度よりも密度を重視して開催するとともに、まちなか（中心市街地）の賑わいを創出します。</p> <p>地元の特産品や観光資源を活用したプロモーション活動、SNS等を活用した情報発信を積極的に展開することで、住民による地元の魅力の認知向上とシビックプライドの醸成を推進します。</p> <p>地域おこし協力隊の活用や起業支援、生活支援体制の整備を進めるとともに、農業・地場産業に興味のある移住者向けの情報を発信し、地域産業の担い手となるチャレンジ意欲のある人材を地域に定着、次世代につながる育成環境を充実させ、持続的な活躍を促進します。</p> <p>上市スマートインターチェンジや鉄道などのインフラを、ひと・もの・しごとの流れを活性化する基盤ととらえ関係する事業者・団体と連携しながら、デジタル環境の整備、移住・定住に向けた住居取得の支援、企業立地や公共交通機関の利用促進を図ります。</p>
ささえあう上市 ～守るべきものを守りみんなで～ “ささえあう”安全・安心な暮らし～	町民一人ひとりが心豊かで充実した生活を実現できるよう、災害の不安を軽減する取組や、地域福祉の推進と健康づくり活動の支援、地域に欠かせない生活インフラの維持として、かみいち総合病院や上市高校に重点を置いた取組など、ささえあいで安全・安心な暮らしの環境づくりを推進します。	<p>ア 防災・減災と交通安全の確保等による安全・安心な暮らしを守る</p> <p>イ 自助・共助・公助の連携と健康づくりでいきいきとした生活を守る</p> <p>ウ かみいち総合病院を応援し地域の医療体制のミライを守る【がんばるかみいち総合病院応援プロジェクト】</p> <p>エ 地域と密着した活動で上市高校のミライを守る【上市高校地域密着型活動推進プロジェクト】</p>	<p>地域ぐるみの防災・減災の取組として、自主防災組織の活動を支援し、災害時用の備蓄を進めるとともに、気象災害のリスクを低減するためのカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けた取組みを推進します。また、防犯や交通事故といったリスクに対し、設備の設置、啓発活動、教育の機会の創出などの対策を行い、安全・安心な暮らしを守ります。</p> <p>健康寿命の延伸に向けて、がん対策や心の健康、感染症予防等、土台となる心身の健康づくり活動の促進を図ります。また、フレイル予防に対する意識の醸成を図る啓発活動や医療・介護の連携体制の強化を推進し、健康で安心できる暮らしへの環境づくりにつなげます。</p> <p>本町と周辺町村の医療拠点であるかみいち総合病院を守るために、病院ボランティア等での町民の参加や医療従事者への応援、医療環境の充実などの取組を地域ぐるみで進めています。</p> <p>高校は、地域の学びの場だけでなく、地方創生の場でもあります。この認識のもと、行政、まちづくり団体、事業所が連携し、町内事業所での職場体験やＩｏＴ等未来技術にふれる機会、まちづくりを考える機会の創出など、上市高校と地域社会が密着した活動を推進します。</p>



地域創生Coデザイン研究所